

Q2

Hib 感染症の患者数は年間約 600 人と少ないように思われますが、予防接種は必要なのでしょうか？

A

患者数は少ないように見えるかもしれませんが、Hib髄膜炎は適切な抗菌化学療法を行っても予後不良となる場合が多く、致死率は約 5%，てんかん，難聴，発育障害のような長期間症状が残る後遺症が約 20%に併発します。また，本剤の接種により，小児の場合重症化しやすい肺炎等の Hib 感染症も予防できると考えられることから，予防接種は意義があると考えます。わが国でも，平成 20～21 年（2008～2009）頃から Hib ワクチンが使用できるようになる予定です。